

# Liberal Arts Letter for Freshmen



## ハイライト:

- 私の考えるところの数学の学び方
- 学生支援センターの紹介
- 学生広報大使が活躍しています!
- DEAKIN大学留学体験記
- ポートフォリオを使うのは、あなた自身です

## 私の考えるところの数学の学び方

大学の初年次で行われる教養教育において数学を受講している学生の皆さんも多いと思います。私は理工学府の理工学基盤部門に所属し、数学の教育と研究に従事していますので、普段から、統計学、微分積分学、線形代数学などを大学でどのように学んだらよいのか?という質問を学生の皆さんから度々受けます。そこで、私の考えるところの数学の学び方を述べてみます。

高校の授業では教科書に準拠して教科書通りにほぼ授業が進められていたのに、他方、大学の授業では必ずしもそうではないことを学生の皆さんは既に感じていることでしょう。これは、全国のどこの大学の数学の授業でもやはり同様です。場合によっては、教科書ではなく担当教員の作成した独自のプリントに基づいて、あるいはまた、教科書ではなく担当教員の板書に基づいて授業が進められていたりします。

もし、教科書や担当教員の作成したプリントに基づいて授業が進められているのであれば、教科書やそのプリントに記載されている事項を、数学自習用ノートを用意して、この数学自習用ノートに自

筆できちんと書き写しましょう。このとき、記載されている事項を1つずつ理解して納得しながら書き写しましょう。記載されている事項の中に数式の計算が含まれていたら、数学自習用ノートでもこの計算をきちんと行いましょう。後で復習する際にきっと役立つはずです。このように手を動かすと同時に頭も働かせましょう。このとき、疑問点や不明な点が出てくるでしょうから、そのときは担当教員などに質問をしましょう。質問に際して躊躇しないでください。もちろん、どの学部所属の学生であっても私の研究室(荒牧キャンパス、教養教育GA棟3階304室)に質問に来てかまいません。

あるいはまた、もし、担当教員の板書に基づいて授業が進められているのであれば、担当教員の話聞きながら、板書事項を数学講義用ノートにしっかりと写すようにしましょう。これは容易にできないことかもしれませんが、少しずつ訓練していきましょう。

このとき、担当教員の話聞きながら、板書事項を数学講義用ノートに書き写すのですから、数学講義用ノートの文字や数式は読



大学教育・学生支援機構  
副機構長  
理工学府教授 渡辺 秀司

## 目次

私の考えるところの数学の学び方	1
学生支援センターの紹介	2
台風、大雪等の自然災害における休講等について	2
学生広報大使が活躍しています!	3
DEAKIN大学留学体験記	3
草津セミナーハウスの利用について	5
学生の違法行為等について	5
教務システム関連情報	6
ポートフォリオを使うのは、あなた自身です	6

みづらいでしょう。そこで、次に、数学講義用ノートとは別に、もう一冊、**数学自習用ノート**を用意して、数学講義用ノートに記載した事項を数学自習用ノートに自筆できちんと書き写しましょう。やはり、このとき、記載されている事項を1つずつ理解して納得しながら書き写すと同時に、数式の計算もきちんといきましょう。このときもやはり、疑問点や不明な点が出てくるでしょうから、そのときは担当教員などに質問をしましょう。

以上のように実行すれば、授業内容を一層理解し、一層納得できるようになると思います。

さらに理解を定着させるために、教科書、プリント、板書事項、適当な参考書などに掲載されている問題を解くようにしましょう。つまり、問題演習を行いましょ。大学の図書館には、統計学演習、微分積分学演習、線形代数学演習などの題名の参考書が多くありますので、大学の図書館もきっと役立つはずで。

## 学生支援センターの紹介

10月になりいよいよ後期がスタートしましたが、充実した学生生活を送ることができていでしょうか？大学では、高校に比べて授業の形態が多様になり、課題も多くなるため、1年目はこれまで経験したことのない壁にぶつかって戸惑ったり、自己管理に苦労する学生は珍しくありません。「こんなのは相談するほどではない」と考えて困りごとを抱え込んでしまいがちですが、早めに相談をすることで、問題が大きくなる前に解決できることもたくさんありますので、ぜひ気軽に学内の学生支援の窓口にご相談をしてもらえればと思います。

「そうは言ってもどこに相談したらいいかわからない」という方も多いと思いますので、本稿では学生相談窓口のひとつである「学生支援センター」の紹介をしたいと思います。学生支援センターは、主に学生の学業上のさまざまな相談に乗り、必要に応じて学内のより適切な相談窓口案内をする役割を持っています。「計画的に進められずにレポートが出せない」「生

活リズムが乱れがちで朝の授業に出席できない」「どうしても気分が落ち込み学業に打ち込めない」等、学生生活で生じるさまざまな相談に対応しています。ちょっとしたコツを知るだけで解決できることもあれば、解決に時間を要する問題が背景にある場合もあります。学生支援センターには昨年12月に専任教員として私（五味）が赴任し、学生のさまざまな学業上の困りごとに対応できるように体制や仕組みを整えているところです。学生の皆さんから相談をいただくことによって、より多くの困りごとに対応できるように整備されていきますので、まずはメールで気軽にお問い合わせいただければと思います。

学生支援センター  
担当：五味洋一  
student-support-center@ml.gunma-u.ac.jp

## 台風、大雪等の自然災害における休講等について

台風等自然災害により、本学が所在する地域に暴風、暴風雪、大雨、大雪等の警報（特別警報を含む。）が発表された場合や不測の事態が生じた場合、学生及び関係教職員の生命の安全確保と事故防止のため、授業及び定期試験を休講等にすることがあります。

休講等措置を行う場合は、その都度、本学のホームページ・教務システムによりお知らせしますので、群馬県内に接近する台風等の気象情報が出された場合は、本学のホームページ・教務システムを確認してください。

## 学生広報大使が活躍しています！

7月8日（日）と8月17日（金）に実施した群馬大学オープンキャンパス「GU' DAY2018」には、学生広報大使が企画段階から関与して新しいイベントの考案などを行い、当日も多くの学生広報大使が運営スタッフとして参加し、生き活きとした学生の姿を来場者に見せてくれました。

オープンキャンパスのほかにも、各地で開催される進学相談会での相談対応や、高校への出前説明会での体験発表など、様々な活動を行っています。また、「こんなイベントをやってみては？」「こんなグッズがあると良い」といった提案も行っていきます。

なお、学生広報大使は随時募集中です（10月1日現在の登録者数207名）。皆さんならではの視点を本学の広報活動に活かすとともに、その経験を皆さん自身の成長にも繋げてみませ

んか？参加可能なイベント等を選んで活動できますので、興味を持った方はお気軽に登録してください。



「GU'DAY2018」女子カフェ  
(今年のユニフォームは、ロイヤルブルーのTシャツでした。)

学生広報大使のページ（応募方法、活動実績）

<http://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/g29322>

問合せ先

学務部学生受入課（荒牧キャンパスGA棟1階6番窓口）

E-mail : [g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp](mailto:g-admission@jimu.gunma-u.ac.jp)



## DEAKIN 大学留学体験記 医学部保健学科 2年 伊藤裕喜

### ●プログラム内容

私たちは、2018年2月10日～3月10日の日程で、DEAKIN大学において実施された群馬大学GFLの短期留学プログラムに参加しました。DEAKIN大学はメルボルンの郊外に位置する総合大学で、DUELI (Deakin University English Language Institute) と呼ばれる英語学校を併設して世界各地から留学生を受け入れています。今回私たちは、3週間DUELIで英語教育を受けて、最後の1週間は群馬大学のGFL生専用の特別プログラムに参加しました。

### ●授業・研修

DUELIでの授業は、留学前にプレースメントテストを受けその結果をもとにクラス分けがされ、1クラス15人程度の少人数で行われまし

た。先生はもちろん、クラスメイトも日本人以外の学生が多く、クラス内での会話は英語で行われていました。また、日本での英語教育よりもよりスピーキングやリスニングなど実践的な英語に重点が置かれ、授業中は常に自分の意見を求められ、人の意見に耳を傾けながら、自分の意見を英語でまとめ表現する能力が非常に養われました。時には自分と異なる国籍のクラスメイトと国際問題についてディスカッションをする時間もあり、国籍が異なれば1つの問題でも考え方や着眼点が全く異なったり、逆に国籍が違えども似たような考え方に出会ったり、日頃いる環境から一歩外に踏み出し、世界を客観的に判断する事の重要性について再認識する良い機会となりました。

## ●生活

滞在中は、DEAKIN大学の学生寮に宿泊しました。1ユニット5人のミックスジェンダー形式での共同生活をしました。部屋のメンバーの国籍、年齢は様々で価値観の違いなども共に生活していく中で肌に触れ学ぶことができました。私たちの滞在中には大学の“Oウィーク”という週があり、新入生歓迎のパーティーも毎日違うところで開催されていて、多くの学生と交流する貴重な機会もありました。また、寮の共有スペースには常に人がいて、自分から行動すればより実践的な英会話を同年代の人々とするところのできる環境が整っていました。



## ●まとめ

今回の留学を通じて、英語能力の向上は世界で活躍する人材になるためには必要不可欠であり、さらにグローバル化が進んだ世界で自分はどういう存在であるべきかを、海外に身を置き同年代の学生と様々な経験を積んでいくことで、見つめ直す良い機会となりました。また、日本国外に身を置き生活しなくては気が付きにくい日本の良いところや、外国の素晴らしい文化なども自分の目で見て感じることができました。

## ●観光

放課後や週末は、一緒に留学していた群馬大学生や他大学からの留学生、現地で仲良くなった外国人のルームメイトや友達とメルボルンの中心地や郊外の観光地を訪れました。メルボルンはカフェの激戦地としても有名で、町の至る所に様々なカフェがあり、アフタヌーンティーなども毎日お店を変え楽しむことができました。週末は市内の様々なところでイベントが開催されていて、参加する度に現地の今まで知らなかった新たな一面も垣間見ることができました。移民国家という背景を持ち合わせているため住んでいる人種も多様であり、その歴史も地域の雰囲気や博物館から学ぶことができました。少し郊外に足を延ばせば、緑豊かな自然が広がっていて、日本とは一味違った広大なオーストラリアの大自然も満喫することができました。

## 草津セミナーハウスの利用について

草津セミナーハウスは、関東甲信越地区国立大学の共同利用合宿研修施設として、学生及び教職員が起居を共にし、相互に研鑽し人間関係を深め、対話や学習を重ねながら教養を高め、自然に親しみ、豊かな人間性を育成することを目的に設けられました。全国有数の温泉地である草津町にあるこの施設は、有名な湯畑へも歩いて行ける場所にあり、お風呂はこの温泉水を引き入れた源泉かけ流しです。本施設には、研修室（4室）や暖房を備えた体育館があり、ゼミやクラブ・サークル活動、仲間とのグループ活動や運動など、様々な活用できますので、ぜひご利用ください。

利用手続等は以下のとおりです。

- ◇ 原則として、4人以上のグループで4泊5日以内です。
- ◇ あらかじめ電話（027-220-7145）または、学生センター1階4番窓口にて、空き室状況を確認のうえ予約してください。
- ◇ 利用開始の4ヶ月前から10日前までに「使用許可申請書」提出してください。
- ◇ 宿泊室は4名部屋と8名部屋があわせて15室あり、100名まで宿泊できます。
- ◇ 冬期はスキー、スノーボードの貸出をしています。

### ◇体育館の概要

面積	利用内容
540㎡ (30m×18m)	バレーボール1面 バスケットボール1面 バトミントン3面 卓球台5台

- ◇ 利用料金等詳細は、本学ホームページの「教育・学生生活」からご覧ください。  
[http://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu005/stu005\\_001/g2008](http://www.gunma-u.ac.jp/studentlife/stu005/stu005_001/g2008)



草津セミナーハウス

## 学生の違法行為等について

残念なことに、未成年者の飲酒（急性アルコール中毒を含む）、窃盗、盗撮、無免許運転、試験等における不正行為（カンニングを含む）等を行う学生がいます。これらの行為により停学や退学の処分になることがあります。停学の処分となった場合、留年になることもあります。また、保証人（保護者を含む。）に通知するとともに、懲戒の内容等が学内に告示されます。さらに、奨学金の交付停止・廃止や授業料免除の取消しになることもあります。

学生の皆さんは、軽率な行為が重大な結果を招くことになり兼ねないことを十分に認識してください。

本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者に対する懲戒等に関する内容を明文化した「群馬大学学生の懲戒等に関する規則」については、学生便覧又は大学ホームページ「教育・学生生活」/「その他関連情報」で確認してください。

## 教務システム関連情報

### ①平成30年度前期の成績について

各学期の成績は、教務システムにログイン後、「履修・成績情報」メニューで参照できますので、各自確認してください。

### ②履修登録について

履修登録は、教務システムで登録を行うことよってのみ認められます。したがって、履修登録をしていない授業科目（開放専門科目も含む）は、単位は認定されませんので注意してください。

### ③授業評価アンケートについて

各学期に教務システムで授業評価アンケートを実施していますので、ぜひ今後の大学の授業改善に役立つようにアンケートにご協力ください。

## ポートフォリオを使うのは、あなた自身です

皆さんが作るポートフォリオは、そして皆さんが使うポートフォリオは、学習の過程での色々な成果（学習計画、作製した資料、授業や実験・実習のレポート、課外活動、検定試験のレコード、単位取得状況等）をまとめ、見やすく整理したもののことです。大学生活の中で考えたこと、経験したこと、学習したことを記録し、人にも見せられるようにするための仕組みです。

「人に見せられるようにする」というのは、記録することによって自らを客観的に見ることができるようにするためです。

記録を読み返し、自分の学習活動や課外活動のことなどを振り返ることにより、次に向けた課題の発見や、計画のデザインにつなげることができます。達成状況の年度を追っての変化を見ることで、自分の成長を実感できます。

記録に残す作業をすることで、頭の中が整理でき、自らの考えを客観的に分析・評価できるものとすることができます。チューターや指導教員からアドバイスを受けるときの大切なデータとなります。進路選択の際の適性などについ

での自己分析の資料となります。また、就職活動の際の、エントリーシートの作成や面接の際の貴重な資料となります。

ポートフォリオを大学生生活の貴重な記録として使いこなしていきましょう。

### ポートフォリオの入力方法

- ①教務システムにログインする。
- ↓
- ②トップページから「ポートフォリオ」を選択する。
- ↓
- ③「ポートフォリオ」を選択する。
- ↓
- ④ポートフォリオメニューから「ポートフォリオ」を選択する。
- ↓
- ⑤「年度」を確認し「編集」を選択してポートフォリオを入力する。

## 大学教育・学生支援機構

平成30年10月発行  
発行元 学務部教務課

〒371-8510  
前橋市荒牧町4-2  
電話: 027(220)7128  
FAX: 027(220)7620

